
Time Buyer

白狐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Time Buyer

【Nコード】

N2499BA

【作者名】

白狐

【あらすじ】

もし・・・時間を売れるとしたら・・・
もし・・・時間を変えられたら・・・
時間を売った少女と時間を買った少年の恋愛？ストーリー・・・
かな？

Prolog

。 今の世の中何もかわずに生きるといふのは不可能だ
。 物を買うといふことは売り手がいて初めて成立する
。 食料、衣料品、自動車、不動産そして時間

この国において時間の売買も法律で認められている
時間を売買できる場所は政府が指定した公正時間取引機構だけでだ
。 1時間2時間くらいの時間ならちよつと高めのアルバイト
みたいな感じで済むが、その人一生分の時間を買取するには1億な
いし2億ぐらいは必要だ

。 そんな大金そうそう準備できるはずもなくそんな時間を売る人もい
るはずもなく時間を売るといふ行為はなかなか成り立たないのだ

そもそも時間を売れる人間は少ない 生活基準が上がってい
るわが国はよっぽどのが無い限り時間は売れない
システムになつてているのだ

例えば両親が死んでいてその両親が莫大な借金を抱えていた
そして自分がそれを変えさえない場合とか

。 まあそうそうそんな数奇な運命を背負つたやつはテレビの
中のドラマぐらいだろう

。 考えるだけでアホらしくなつてきた

。 俺はレポート用紙のページを剥ぎ取り丸めてゴミ箱に突っ込んだ

学校の課題である公正時間取引機構のありかたについてというお堅
い内容を考えていたらなぜかこうなつてしまった

。 まあ 両親が死んでしまったといふのは自分のこ

とを指しているんだが……。

……しかし・俺は借金も背負わされていないし……両親はそれなりに大きな会社を経営していたので遺産はかなり……4億ぐらいだったかな……。

それぐらいあつたはずだ……難しい事はよく分からないので弁護士に管理を委託してあるがたしか好きに使えたはずだ……。

……まあ遊びで浪費する気はさらさら無いが……もう……4年か……。

……いかにかん……気分が暗くなっている……。
……はあ……紅茶でものむかあ……。

両親が死んだ日……俺は持病の喘息が酷くなって入院していた・
・両親はおれのお見舞いに来る途中で飲酒運転の車と正面衝突をし、

即死した……。両親の死を伝えに来た医師の唇が青かったのをよく覚えている。

あの時の俺は小さくて死というものがあまりわからなかったがもう両親に会えないことは理解していた……。

でも泣けなかった……泣いたら……両親が苦笑いを浮かべそうだったから……だから俺はずっと我慢していたんだ……。

通夜の時には遠くに引越してしまった幼馴染の子とか叔母さんとか色んな人が来た……。

みんな泣いていた……俺は我慢した……。

すると幼馴染のこ……歌奈多にどうして泣かないのかと聞かれた……あの時俺はなんて返事を返したんだっけ……。

……だ……か……ら……なんで暗い話を持ち出さな俺は……

誰かに説明でもしてんの俺!?

……というつつこみも傍から見ればただの頭の可笑しい人でしかないという事を後から気付く俺だった……。

．．．．
．．．．
．．．．朝である．．．．したがって学生である俺は学校という
閉鎖空間に収容されなければならぬのである．．．．時刻は9
時をまわったところ．．．．本来なら授業を受けているはずであるが
今俺は布団の中にいる．．．．このことから意味する事柄は1つ．
．．．．

「遅刻だああああああああああ！！」

ダッシュで玄関を出てバス停までいく．．．！

．．．．間に合うか！？時刻表を見て確認する．．．．あと2分か
．．．．ぎりぎりいける．．．！！

横をバスが通りすぎていく．．．．

「うおおおおおおおおおお！！」

ラストスパートをかける！！！！

．．．．
．．．．

．．．．．結局間に合わず次のバスが来るのは一時間後という
事で俺は歩いていく事にした．．．

．．．．無駄に疲れたな．．．．しんどい．．．．

もともと遅行していたのでどうせ変わらないだろと開き直ってのん
びりと歩く事にした．．．

あ~~~~いい天気だなつと．．．

．．．．しばらくすると公正時間取引機構の建物が見えてきた．．．
．．．．もう少して学校だな．．．

公正時間取引機構の建物の前の掲示板には時間を売りに出している
人たちの名前が表示されていた．．．

．．．．立場が違えば俺も同じような事になっていたかもしれな
いと思うと少しだけ背筋が寒くなった。

なんとなしに眺めていると

「三國 歌奈多」

という名前に目がいった……。

三國……歌奈多……？

……幼馴染の顔を思い出す……カナタ……？

買い取り金額を見ると

「2000000000」

……2億！？

これだったらカナタの一生分の時間を売ってるじゃないか！？

本当に本人がどうか確認するために公正時間取引機構の受付で詳細

情報をもらった……。

やはり……俺の幼馴染のカナタえあることが分かった……。

どうして一生分の時間を売ることになったのかは分からないが……

……ともかく……俺は……黙ってみていられない……！

カナタが他人のところまで一生働くなんて……！

これはエゴかもしれないし純粋にカナタを救いたいと思ったからか

もしれない……。

俺はポケットから携帯電話を取り出し弁護士である和久さんに電話

をかけた……。

……2億円をおろしてくれるように……。

Prolog(後書き)

はじめまして！

白狐はこと申します！

なにぶん初めてなもので色々つたない部分ばかりだと思いますが・
まあ温かい目で見守ってもらえたら嬉しいです！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2499ba/>

Time Buyer

2012年1月6日12時46分発行